



ともに目指す!

お問い合わせください。
ご相談お待ちしております。



いよいよ夏が到来しました。ワールドカップ真只中であり、高校野球の予選も開始され、まさに躍動の季節となりました。と雖も齢を重ねるにつれ連日の猛暑には、つい弱音が出るこの頃です。皆様はいかがでしょう。

先月中国とミャンマー、ベトナムを訪問する機会があり改めて感動と衝撃を受けて帰ってきました。訪問したのは日本ではあまり知られていない中国の観光地ですが、日本でいう露店の土産物屋さんの店頭、射的の店の支払い等すべてがQRコード使用の電子決済で、お客さん(全員現地人)の誰一人も現金で支払う姿を見かけませんでした。レンタル自転車も設置場所は無人で各自スマホのQRコードで開錠、使用時間に応じた支払(一時間以内無料)、施錠が行えました。マスコミ等で中国・韓国のIT化が日本の遙か先を進んでいるとの報道がなされていますが改めて実感しました。すでに中国で普及しているITサービスが日本に続々と進出しつつあり、規制が多く新しい取り組みに後ろ向きなこの日本社会はIT後進国になりかねません。人口減少問題も含め今一度原点に戻り、どん欲に新しい事柄に挑戦する気概を我々中小企業こそが先んじて持たねばならないと思いを新たにしました次第です。これから更に炎暑に向かいます。釈迦に説法とは存じますが経営者にとって自らの体調管理は事業体の管理そのものです。くれぐれもご自愛をお願い申し上げますと益々のご隆盛をお祈り申し上げます。

愛知商工連盟協同組合 理事長 鹿島 均 (info@aishoren.or.jp)

ASK バンコクからの駐在員報告 Vol.8

タイは産業構造の大改革

-----このダイナミズムを日本の成長エンジンにしえるか?



愛知商工連盟協同組合
国際事業部海外開発部長
福田 謙
ASEAN 要衝の地バンコクで
各国情報を集め、送し機関の
視察、面接のサポート等々素
早い動きと的確な案内が好評。

先ず、タイの産業で思いつくものといったら?
観光でタイを訪れたことのある方は多いかもしれませんが、タイの産業と聞かれるとあまりピンと来ない方も。でも、身近なところでは、愛知県に馴染みの深い鳥の手羽先の原料となる鶏肉なんかもタイからの輸入が多い品目です。因みに、タイは世界のキッチンを標榜し、第一次産品となる農・海産物の生産や加工などにも積極的に取り組んでいます。さらに、東洋のデトロイトと称される自動車産業の発展に見られるように、タイはハイテク産業の集積地でもあります。代表的なところでは、ハードディスクドライブの生産では世界第2位、ゴムタイヤでは第6位、コンピュータ関連製品では第7位。白物家電と呼ばれる洗濯機、冷蔵庫などにおいても世界的な輸出拠点となっています。
これらの数字が示すように、タイは工業化の着手に成功した国であり、1990年代には世界銀行からも東アジアの奇跡と称せられたことも。しかし、ここ数年は、特に他のアセアンの新興国と比べると経済成長に著しい鈍化の傾向が見られます。タイの経済成長率は2015年に2.9%、2016年は3.2%、2017年は3.9%です。日本と比べると良い数字に見えますが、ASEANの他の国々は6~7%の経済成長を記録しており、タイは大きく見劣ります。この状況に焦りを感じているのが現在のタイであり、その理由として大きく取り上げられているのが、『中心国の罫』の問題です。中進国の罫とは、安い人件費でモノを作り、輸出して経済成長を遂げた発展途上国が、先進国に向かうまでにぶつかるとの壁を指します。経済成長をするにつれて人件費も上がった現在、単なる安い人件費を利用した低機能な製品ではなく、より高度な技術を用いた製品を作らなければ今後のさらなる経済成長は見込めません。タイは現在、人件費が安いわけでもなく、(カンボジアやミャンマーではタイの半分、またはそれ以下の給与水準)先進国のような高度な技術もないという、先進国入りする過程で直面する経済が停滞しがちなフェーズにさしかかっているのです。そこで、この状況の克服を目的として2016年よりタイが取り組んでいるのがタイランド4.0という国家戦略です。この戦略は、名前からもお分かりの通り、ドイツの国家戦略プロジェクトであるインダストリー4.0を模しています。経済社会のデジタル化を加速させることで、タイを付加価値創造社会へ移行させ、今後20年間に先進国入りすることを目標とする長期ビジョンです。

そして、タイランド4.0が主力に掲げるのが次の10の産業です。これは段階的な取り組みを計画しており、第一次フェーズと第二次フェーズの区分けがされています。

- ①次世代自動車 ②スマートエレクトロニクス
③医療ツーリズム ④農業とバイオテクノロジー ⑤食品
⑥ロボティクス ⑦航空・ロジスティクス
⑧バイオ燃料、バイオ科学 ⑨デジタル技術 ⑩医療ハブ

先ずは、①~⑤の既存産業の競争力を強化し、その間に⑥~⑩の未来産業の育成を目指しています。特に⑥~⑩の産業に関しては外資の進んだ技術、投資の取り込みが必須です。そして、これらの産業を促進する場所として、タイ政府が最も重視しているのが、バンコクの東部に位置するEEC(EASTERN ECONOMIC CORRIDOR/東部経済回廊)です。この地域では、既存のインフラを活用しつつ、今後、1.5兆円を投じてウタパオ空港の拡張・整備、レムチャパン深海港の拡張、高速道路の敷設といった多種多様なプロジェクトを推進し、将来的には航空、物流、貿易、製造、観光、イノベーション、グローバルビジネスのハブとしてワールドクラスの経済圏となることを目指しています。日本の2016年末時点のタイ向け直接投資累計額は約4兆円。この額は中国向けの約半分に相当します。そして、その投資先の9割以上がバンコク周辺へのもの。日本による中国向けの投資は北京市、天津市、上海市、武漢市、重慶市、広州市の中国全土に分散していることから、日本の製造業の集積はバンコク周辺が世界でも最も進んだ地域とも言えます。日本の産業にとってホームと呼んでも差し支えのなかつた国がこれまでのタイです。そんなタイが、今、大きく変わろうとしています。日本はこの機運を自国の活路として取り込みながら、これからもタイの発展に寄与する国としてのプレゼンスを発揮できるものなのか。ここは、是が非でもそうあってほしいものです。



ASK 平成30年度第1回 理事会
日時:平成30年6月29日(火曜日)
場所:愛知商工連盟協同組合 本部会館 3階
出席者:15名 鹿島均、長谷川道春、鈴木力、矢嶋俊彦、牧野正宏、今泉真徳、谷口唯一、野田誠次、橋村長城、平林俊一、馬見塚光昭、森本和義、安田将之、山口徹、若杉良樹 委任状:5名 鹿島3名、矢嶋1名、牧野1名
監事:2名 正瀬新治、山名敏文
議題
1) 第45回総代会について
2) 45周年催事・記念事業について
1. 案内状の作成と配布
2. 記念品の選考
3. Road to ASK50s
3) 有料職業紹介事業の定款変更について
4) 外国人労働者受入れ策について 他

ASK,大須夏祭りに協賛出展決定!
大須観音前広場に(8月4日・5日)
3・6m x 2・7m規模の
ASKテントブースが設置されます
ぜひお立ち寄りください!!
2018年8月4日(土)・5日
OSU SUMMER FESTIVAL 化けて騒いで厄払い
4 サンパレード・化けて行列!
大盆踊り大会・東海ラジオ公開録音
世界コスプレサミットパレード
5 手籠花火・夏だまつりだゆかたで大集合!!

組合員様紹介
街はひとつ、河は新
有限会社 浅田屋
第六代浅田屋 太右衛門 様
第68回 大須夏祭り
実行委員長 吉田 和正 様
二百十五年前初代浅田屋 太右衛門 はここ大須の地に三味線のお店「浅田屋」を開いた。ときの将軍は徳川家斉で十一代目。十返舎一九が東海道中膝栗毛を初刷りした翌年である。三味線は戦国時代に琉球から伝来。他の多くの和楽器と比べ新しい楽器である。楽器本体は「天神」(糸倉)、「棹」(ネック)、「胴」(ボディ) から成る。素材には紅木(こうき) 材(インド産) を用い硬く緻密で比重の高い木が良いとされる。皮は猫の腹を使用、高価なことと生産量の減少により犬の皮も使う。糸巻きの黒檀、象牙、撥に使われるべつ甲など、三味線は日本独自の楽器だが材料のほとんどは輸入品。ご当主である六代目は三味線取扱いの師匠であり組立て・調整の職人だが、ラムサール条約やワシントン条約などもあり、材料入手の困難度が高く暖簾は掲げてあるものの積極的に仕事を進めていく状況にない。しかし六代にわたり二百年の老舗の繋いできた年数の重みは感じているという。それは事業家であり演者を支える心の熱さとなって放出されているように見えた。長きにわたりお世話になっている大須は江戸時代から名古屋の街の芸どころである。二百年を超える血脈の進化は、事業家であり演者を育み支えるプロデューサーとなつて、生まれそして育んでくれたこの大須の街に恩返しをしたいと願う。だから、もっと、もっとと熱く賑やかに多くの出会いを演出し、広範で親密な交流を応援する「大須夏祭り」に精を出す。そして八年後には、新たな気持ちで三味線を取り扱ってみたいという。この大須で事業も承継し、文化も継承させていきたいと力強く抱負を語ってくれた。

街ににぎにぎしさを! 店に活気を!
居酒屋で講・宴会 ASK
6月18日
武田邦彦教授が大曾根の居酒屋"豊楽"にやってきた♡